



Alter Weekly Order Catalogue

ほんものを たべよう

A

2026. 10月2週号

提出日

9/ 火 水 10/ 金
29 30 1 2

配達日

10/ 火 水 木 金
6 7 8 9

翌々週配達日

10/ 火 水 木 金
13 14 15 16

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

○「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を
日本一公開します。

○「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。

○原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、
遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、
食品添加物などを徹底的に追放します。

○プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

野菜

ファームシャングリラ農法で 野菜作り

低投入型有機農業

(株)タナットネイチャーLab

文責 西川 榮郎 (オルター代表)

いのちの循環を活かす農業

タナットネイチャーLab山岸 暢代表は、淡路島の山上にある東京ドーム1個分ほどの農園で、玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも、ニンニク、九条ネギ、小松菜、水菜、青梗菜、春菊、からし菜、ルッコラ、ラディッシュ、サラダカブ、ピーマン、万願寺唐辛子、ナスなど多種類の野菜を栽培しています。農業・化学肥料は一切使いません。

土壌微生物の働きや太陽の力、圃場に生える草や落ち葉など、自然界にある循環をできるだけ活かしながら作物を育てています。人間の力だけで作物を育てているのではなく、土の中の微生物や植物、虫、太陽、雨など、さまざまないのちのつながりの中で作物が育っていく。山岸代表は、こうした農業のあり方、そして農業を通して目指す世界を「ファームシャングリラ」と表現してきました。

人間が自然を一方向的にコントロールするのではなく、自然の働きを観察し、その力をできるだけ活かす。それが、タナットネイチャーLabが続けてきた農業です。

オルターの格付けでは☆☆☆になります。微生物資材に有機物が使用されていますので「自然栽培」とはなりませんが、限りなく「自然栽培」に近い低投入型の有機農業といえます。タナットネイチャーLabのイチゴ☆☆☆についてはオルターカタログ2024年2月1週号にてご紹介しているとおりです。

気づきから始まった農業

山岸代表は、家電空調工事の元請会社(株)タ



タナットネイチャーLabの山岸 暢代表

農業は、野菜を 作っているだけじゃない

山岸代表が農業を続ける中で、もう一つ強く感じるようになったことがあります。農業は、単に野菜を作って販売するためだけの仕事ではないということです。

畑には作物があります。しかし、そこにあるのは作物だけではなく、土の中には微生物がいて、草が生え、虫が集まり、そこで働く人がいます。そして、できた野菜を食べる人がいます。農業は、そのすべてがつながる場所でもあります。人が自然と向き合う場所になり、人が働く場所になり、人と人がつながる場所にもなる。

現在、タナットネイチャーLabでは、新規就農を目指す2名の若者に加え、近隣の就労継続支援B型事業所の利用者8~10名も農作業に携わっています。

野菜を育てることを通して、人が育ち、人と人とのつながりが生まれ、社会との新しい関わり方も生まれていく。山岸代表は、農業にはまだ多くの可能性があると考えています。

農業は、野菜を作っているだけじゃない。

野菜を育てる。

人が育つ。

人と人がつながる。

そして、自然と人との関係をもう一度考える。

農業には、社会そのものを少しずつ変えていく力があるのではないかな。

タナットネイチャーLabは、そんな農業の可能性を、淡路島の畑から探り続けています。

タナットネイチャーLabの 農薬不使用野菜

☆☆☆

●栽培品目

玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも、ニンニク、九条ネギ、小松菜、水菜、青梗菜、春菊、からし菜、ルッコラ、ラディッシュ、サラダカブ、ピーマン、万願寺唐辛子、ナスなど

●防除

農薬の使用はありません。

●施肥

微生物資材…椿き家(広島県)非遺伝子組み換え国産大豆原料の豆腐(にがり以外の添加物を使用せず)のおからを乳酸菌発酵したもの
液肥…酒粕(広島県)を発酵させたもの
圃場で刈った草、落ち葉を発酵させたもの